

# GET IN THE RING!

AND THAT GOES FOR ALL YOU PUNKS IN THE PRESS  
THAT WANT TO START SHIT BY PRINTIN' LIES  
INSTEAD OF THE THINGS WE SAID  
THAT MEANS YOU  
ANDY SECHER AT HIT PARADER  
CIRCUS MAGAZINE

MICK WALL AT KERRANG  
BOB GUCCIONE JR. AT SPIN,

増井修, 井村純平, 田中宗一郎 & 鹿野淳 AT ROCKIN' ON  
WHAT YOU PISSED OFF CUZ YOUR DAD GETS MORE  
PUSSY THAN YOU?  
FUCK YOU  
SUCK MY FUCKIN' DICK

YOU BE RIPPIN' OFF THE FUCKIN' KIDS  
WHILE THEY BE PAYIN' THEIR HARD EARNED  
MONEY TO READ ABOUT THE BANDS  
THEY WANT TO KNOW ABOUT  
PRINTIN' LIES STARTIN' CONTROVERSY  
YOU WANTA ANTAGONIZE ME  
ANTAGONIZE ME MOTHERFUCKER  
GET IN THE RING MOTHERFUCKER  
AND I'LL KICK YOUR BITCHY LITTLE ASS

GUNS N' ROSES "USE YOUR ILLUSION II"

だからGUNS N' ROSESに“GET IN THE RING”  
（リングにあかぬ）って歌われちゃうんだよ。矢張りバンド  
のことが書いてあるのを読むために、たいへんな思いを  
して稼いだ金を払っているキッズをだまして、ってやられ  
ちゃうんだよ。

「2日目も同じようなことがあったらしい。それが3日目  
になると、今日は怒ることが何にもねえと言って暴れて  
いたそうだ。増井修（おまけ参照）

他人から聞いたことを確かめもせずに書くのは、リング  
にあがる資格を失うことだ。ライブ評の内容を読む  
ままでいい。失格!

「もう何もかも期待通りで、それ以上でもそれ以下でも  
ない。雑誌やテレビで学習した通りの70年代のロック  
フォーマットがガンズの何こう慣れにみえた気がする。  
井村純平（おまけ参照）

「何もかもが期待通り」だって。そりゃーそうでしょう。  
雑誌やテレビで学習したことが頭の中に話して  
いるんじゃない。第1ラウンドで、K.O.負け!

「アクセルは初日、2日目のステージでは器材その他の  
問題で怒りまくっていたと聞く。田中宗一郎（おまけ参照）  
これもまた他人から聞いたまま確かめもせずに書い  
ている。失格!

「そして今回恒例となった通訳も通してのMC。今日は  
怒る理由がなにもないから昨日みたいに怒ら  
ない。みんなエンジョイしてってくれ。サンキュー。靴  
と一緒に不快感が押し寄せる。ああ？おめえが抱える  
フラストレーションというのは、結局そんな程度のもの  
なのか？」同じく田中宗一郎（おまけ参照）

失格したの気がつかず自分の影を相手にシャドー  
ボクシング。自分の影のパンチをくらって、K.O.負け!

「2日目はマイクの調子に腹を立て、ステージから消えて  
から20分以上登場しなかった。最終日はその反動から  
か、ネガティブなエネルギーをすべてポジティブなパワーに変  
換させたものの、アクセル・ローズの目つきは尋常ではな

かった」森内淳（おまけ参照）  
アクセルはマイクの調子に腹を立ててステージから消えた  
んじゃない。（48号参照）「アクセル・ローズの目つきは尋常  
ではなかった」とあるけど、この文章からは「尋常」の  
意味がいろいろととれるから…。引き分け!

「一曲の中で何度もソデに引っ込むクイックなストローク  
を見てわかる通り、彼はスポーツとしてロックをとりえて  
いるのだ。あの体はアメフトのバックスでも通用する」  
鹿野淳（おまけ参照）

アメフトで通用するくらい鍛えた体でロックやろって  
すばらしいじゃない! 鍛えた体でスポーツとか考  
えられないの? 第1ラウンド、リングの上ですぐK.O.負け!

こんな大評判、下司評（森内淳のは除いて）を書く  
から「音楽会の批評を書く先生方は、招待券をもら  
って音楽会にきたうえで、あれこれきおろすのが慣  
例である」とか「アゲ券をもらうとちよいとホメ  
たりする“たいこもち批評家”になってしまう」（切抜き  
参照）。とかいわれるんだよだから、試写会で見  
るようになるまで何千本と自分で金を払って見てるんだ  
（切抜き参照）なんてエバることもない、けどな。

金払って何千本見たってそれでいい評論が書ける  
もんでもないんだから。73ヤマの渡辺正士んが  
「SOS, Vol. 40で愛するに良い原稿書いて下さい。それ  
ばかりが良くてもんです。ゴキゲンな原稿なら仕事  
もへらないうし、きつ」と明快に書いてくれている  
ように、良い評論、ゴキゲンな評論なら、金払ったか  
どうかなんて、なんにもいわれやしない。

オスカー・ワイルドは「美しいものに面白い意味を見  
出すひとびとは腐敗しているだけで、鬼力がない」と書  
いている。増井修は腐っている。だから銭湯がしる  
前にどうして帰りに来たのね（おまけ参照）。

腐ってるから、1日でも風呂に入らないと臭くて自分で  
我まんがでまじないからなのね。「た」って、何だ  
っていうんだよ。だってさ。そりゃー、あんたにんかか

「それと山城が読んだのかどう  
かは知らないが、奴は主婦相手  
の昼の番組の中で、〈映画評論  
家〉は実作者になれなかった二流  
の人間がなる職業だ」と発言し  
た後で聞かされた。これには本  
当に激怒した。

田山力哉  
週刊文春(26号) (9)  
「こいつだけは許せないよ  
（文中の山城とは山城新伍のこと）」

「およそ実作とか批評という概  
念すら分かっていない者が、自  
分がけなされたという理由だけ  
で空疎な暴言を感情的にお茶の  
間にまき散らす。まったくテレ  
ビ界の害虫である。」

「評論には必ずついてまわる宮  
為である。小林秀雄が小説を書  
かなかったからといって二流な  
のか。よくもこんな差別的言評  
が吐けるものだ。」

切抜き①  
それはともかくとして、その「批評  
家の手はきれい?」という一文は、「き  
る音楽マネージャーに聞く」、音楽会  
の批評を書く先生方は、招待券をもら  
って音楽会にきたうえで、あれこれ  
きおろすのが慣例である」とい  
う出だしだ。ぼくは先生ではないが、  
招待券をもらって行って「コンサート  
通いをしてる身なので、まずはど  
ろと招待券の催促をする先生はいれば  
かまわない。五人分の原稿を要求して  
くる雑誌社もあると聞け。もしそうか  
らしたら、こんなにおかしな話はない  
だろう。何千円、何万円という原稿の  
提供を受けながら、いかにも客観的で  
公正といったタリ顔の批評を書くとは  
どうなのか」と書いている。

切抜き②  
POPGEAR 12月号(9)  
「オレノ本ダブ」より  
それを山城が読んだのかどう  
かは知らないが、奴は主婦相手  
の昼の番組の中で、〈映画評論  
家〉は実作者になれなかった二流  
の人間がなる職業だ」と発言し  
た後で聞かされた。これには本  
当に激怒した。

「この間も上層部太郎の番組に  
出てるところを偶然見た。〈映  
画評論家と称する奴らはタダで  
何千本と自分で金を払って見  
てるんだし、向こうは宣伝に  
なると思っで見せている。別  
にけなされても向こうは文句は言  
わない。」

「およそ実作とか批評という概  
念すら分かっていない者が、自  
分がけなされたという理由だけ  
で空疎な暴言を感情的にお茶の  
間にまき散らす。まったくテレ  
ビ界の害虫である。」

「評論には必ずついてまわる宮  
為である。小林秀雄が小説を書  
かなかったからといって二流な  
のか。よくもこんな差別的言評  
が吐けるものだ。」

GUNS N' ROSESに会って何にもならないだろうと  
思うよ。でもさ、ただ会っただけからだってゴキゲンな  
ことを書けるゴキゲンな評論家はいるよね? 「特  
別VIP」とか「日本で9人だけ」とかいわれて「悪い気  
はしなかった」なんてこと書いてどうすんの? 文、

この記事読んだら、増井修ってrockin' onの  
編集長なんだって。編集室からのお知らせに「原  
稿の採用はスタッフの推薦により編集長が決定し  
ますって書いてあるんだから「僕等は駐車場から出て  
友達を待っている、一台のボクシがやってきてよく  
みると渋谷さんでした」(横濱市小沢和宏おまけ  
参照)という感想を載せたのはあんただってわけよね

rockin' on 発行人の渋谷陽一のゴキゲンをうか  
がう「たいこもち」。だからGUNS N' ROSESに  
「GET IN THE RING MOTHER FUCKER AND  
I'LL KICK YOUR BITCHY LITTLE ASS」  
なんて歌われちゃうんだよ。

rockin' onのGUNS N' ROSESのライブ評を読  
んでわかるのは、アクセル・ローズのことでもGUNS N'  
ROSESのことでもなく、その評を書いた人のこと。  
GUNS N' ROSESは見る人の正体をバラすふつだ。

「おまけ参照」

「おまけ参照」

「おまけ参照」

「おまけ参照」

「おまけ参照」

「おまけ参照」

「おまけ参照」

「おまけ参照」



絵: 友野みゆ